

目次

はじめに

1. 被災ペットの保護・一時預かりの考え方	1
(1) 放浪ペットの保護収容	1
(2) 飼い主からの依頼による被災ペットの一時預かり	1
① 一時預かりをする前に行うこと〈飼い主の飼養環境整備のための支援〉	1
② 一時預かり体制の整備・対応	2
2. 被災ペット救護施設の検討	3
(1) 自治体等による一時預かり先の検討	3
(2) 既存施設の活用	3
(3) 新たな被災ペット救護施設の設置	5
① 施設のタイプについて	5
② 新たな被災ペット救護施設を設置する際の注意点	6
3. 被災ペット救護施設の運営	7
(1) 組織体制	7
(2) 物資	7
(3) 運営資金	8
(4) 飼い主への対応	8
(5) 被災ペット救護施設の縮小・終了	8
(6) 被災ペット救護施設での飼養管理ーシェルターメディスンの考え方ー	9

参考資料

参考資料1 自治体等による被災ペット救護施設の事例	13
参考資料2 シェルターメディスンに基づく被災動物の群管理指針	52